



碧南ロータリークラブ週報

第2987回例会 令和3年8月25日(水)

- 会長 新美 雅浩
- 幹事 栗津 康之
- 会場監督(SAA) 岡本 耕也

2021-2022 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

- 会報委員 石川鋼勇・鈴木 洋・藤関孝典・小林 尚

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

アイシン辰栄㈱ 執行幹部・アイシンティルマーレ ゼネラルマネージャー 磯貝敏春様
アイシンティルマーレ 監督兼選手 鈴木康平様

会 長 挨拶

皆さん、改めまして、こんにちは。本日も沢山の会員の方々にお集まりいただきました。ありがとうございます。今年の8月は例年に比べますと、雨が非常に降りまして、暑さがそれほど厳しくない日が続いておりましたけれども、現在、二十四節気で言いますと、「処暑」という節目に入っております。暦の上では暑さが止んで、ゆっくりと秋に変わっていくとなっております。ただ、現在の日本は夏の未曾有の長雨から回復し始めてまして、今秋から来週にかけて、35度以上の厳しい残暑を迎えるという予報が出ております。四季の移ろいを楽しみつつ、ふとした瞬間に季節が感じられるような気持ちの余裕と心の広さを持ちたいと常々思いつつ、時が過ぎている今日この頃でございます。



新美雅浩会長

さて、新型コロナウイルスの感染者が増えておりますけれども、子供の占める割合がここ1、2週間で急上昇しております。間もなく新学期が始まろうとしている中で、集団感染が全国的に懸念されておまして、その対策の実施が求められております。注意喚起の視点を高齢者から若年層に移して、周囲の大人が改めて感染予防に注意を払ってほしいと考えております。愛知県は金曜日に緊急事態宣言が発出されるという報道が流れておりました。当クラブと致しましては、緊急事態宣言下であっても例会を取り消しすることなく、会場には必要最小限の会員の方々に設営をしていただいて、Zoom による配信でオンライン例会を実施

して参りたいと思います。しかし、オンラインの環境が整ってみえない会員の方もおられます。その方々には後からメールで YouTube の動画の URL をお送りさせていただきます。また、週報の記録をご確認いただくという形を取っていただきたいと思いますので、会員の皆様にはご理解をいただいて、ご協力をいただければと考えております。よろしくお願い致します。

本日は連日熱戦が繰り広げられておりますコロナ禍では 2 年ぶりの開催となりました夏の全国高校野球のお話をさせていただきたいと思います。今年は様々な感染対策を取られまして、49 の代表校が参加し、現在は終盤を迎えております。日曜日が決勝という予定が出ておりましたが、たまたま自分は開会式を見ておりました。球児やプラカードを持つ地元の女子高生が全員マスクを着用して外野に整列をしておりました。内野に向かって行進をするという形で運営されておりました。あと、昨年放送された NHK の連続テレビ小説「エール」に出演されました山崎育三郎さんが大会歌を独唱されまして、素晴らしい歌声を響かせておりました。そして、石川県の小松大谷高校のキャプテンの木下選手が力強く選手宣誓をされまして、私の心に響くものでございました。以下が全文になります。

「2 年ぶりの夏の甲子園。世界に広がる困難のために、普段の生活すらできなくなった人が多くいます。私たちも学校生活、部活動が 2 年前とは全く違ったものとなりました。1 年前、甲子園という夢が無くなり、泣き崩れる先輩たちの姿がありました。しかし、私たちはくじけませんでした。『想いを形に』この言葉を胸に、自分の目指すべき道を定め、友の笑顔に励まされ、家族の深い愛情に包まれ、世界のアスリートから刺激を受け、一步一步、歩んできました。人々に夢を追いかけることの素晴らしさを思い出してもらうために、気力、体力を尽くしたプレーで、この夢の甲子園で高校球児の真の姿を見せることを誓います。」私見ですけれども、何度読み返しても心に響く、我々大人に対しても大いに励まされる素晴らしい選手宣誓ではなかったかなあというふうに感じましたので、ご紹介させていただきまして、本日の会長挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 幹事報告としては特に目立ったものは無いのですが、先程、会長の話にもありました通り、8 月 27 日から 9 月 12 日までの予定ということで、緊急事態宣言が発出されることとなりました。私はその情報を取るのに遅れた為、本日、役員の皆様宛に「理事会開催のご案内」ということで、配布させていただきましたが、今週辺りに再度「Zoom 例会、あるいは Zoom 理事会に向けての書面決議のご案内」ということで、関係各位にご連絡させていただきますので、速やかなご返信とご協力をよろしくお願い申し上げます。



栗津康之幹事

委員会報告

<出席奨励ニコボックス委員会>

| | |
|--|------------|
| 総会員数 65 名 (内出席免除者 13 名の内出席者 10 名) 出席者 54 名 | |
| 出席対象者 54/62 名 | 出席率 87.10% |
| 欠席者 11 名 (病欠者 0 名) | |

<ニコボックス>

- 清澤 聡之君 アイシンティルマーレ ゼネラルマネージャー 磯貝敏春様、よくお越し下さいました。
石川鋼勇くんにお世話になりました。
- 黒田 泰弘君 先週、木村徳雄さんに大変お世話になりました。ありがとうございます。
- 鈴木 泰博君 先日、木村徳雄様に大変お世話になり、ありがとうございます。
- 杉浦 秀延君 本日の卓話ビジター 碧南南中学校バレーボール部の後輩、ゼネラルマネージャー磯貝敏春さんの来訪を歓迎します。
- 牧野 勝俊君 本日の卓話「アイシンティルマーレ」を紹介いたします。今後共、よろしくお祈いします。

卓話

「アイシンティルマーレ活動報告」

アイシンティルマーレ 監督兼選手 鈴木康平様



鈴木康平様

皆さん、こんにちは。私はアイシンティルマーレの監督兼選手をやっております鈴木康平と言います。本日はこのようなお時間をいただきまして、誠にありがとうございます。今日は「アイシンティルマーレの活動報告と今後のお願い」ということで、お話をさせていただきたいと思っております。

まずは、チーム紹介になります。そもそも V リーグとは何かということになるんですけども、バレーボールの日本国内の最上位リーグになります。サッカーで言うと J リーグ、バスケットボールで言うと B リーグ、卓球で言うと P リーグというイメージで、そのバレーボール版と思っていただければ良いのかなというふうに思っております。カテゴリー的には V1、V2、V3 がございます。そもそもティルマーレ (Tealmare) という名前の由来になりますけれども、アイシングループが碧海エリアに多くの拠点を構えていることに因んで、ティルマーレ (Tealmare) と言います。と言うのも、英語で Teal は碧色という意味で、Mare はイタリア語で海を表します。その造語として、ティルマーレ (Tealmare) というふうに命名させていただいております。ですので、地元の碧海エリアに密着した企業チームとして成長し、地域社会の活性化に貢献したいという願いがチーム名にも込められております。チームマスコ

ットの「ティルゴン」のデザインなんですけれども、活動拠点の碧海エリアの「碧」と、運営母体であるアイシン辰栄の「辰（竜）」からイメージされた「碧（あおい）竜」というのをモチーフにしております。ですので、地域（特に子供たち）から愛されたいという願いも込めて、親しみやすく愛嬌がある「碧竜（あおいりゅう）」を表現しております。本当に地域密着型のチームとして、これから活動していこうという思いで頑張っております。

せっかくですので、我々の活動理念を少しだけご紹介させていただきたいというふうに思います。「社業と競技の両立を基本に、バレーボールを通じ、夢と感動を与え職場と地域の活性化に貢献する」というのを基本理念として、スタッフを含め選手全員で活動しております。という中で、チームの使命がございまして、社会的責任として、サステナビリティへの貢献ということで、積極的にSDGsの活動や地域のまちづくりに参加させていただいております。ですので、我々の目指すところは従業員や地域の活力を生み出して、ステークホルダーや地域から信頼を得て、地域発展に貢献するということで、チーム一丸となって頑張っている状況ですので、ご理解いただければなというふうに思います。

実際に社会貢献活動の事例をご紹介させていただきたいと思います。我々は3つの柱（考え方）に基づいて社会貢献活動をしております。1つ目が「自然・環境保護」、2つ目が「青少年育成」、3つ目が「まちづくり」です。今までやってきた活動の中身として、地域清掃、中学校に訪問してバレーボール教室を開催などがございます。まちづくりという観点でいけば、碧南市へ寄贈、へきなん自転車散歩への参加などがございます。今後は地域の企業様とのコラボもしていきたいと考えております。

地域活性と碧南市のPRということで、これから皆様と活動していく機会を増やしていきたいと思っているんですけれども、その活動の中身を我々の公式ホームページとかで情報発信をどんどんしていきたいと思います。これからの社会貢献活動の様子を発信していくことで、碧南市のPRに貢献していきたいなというふうに思っております。8月25日現在で、19社様からパートナーシップのご契約をいただきました。契約の手続きや今後の広告サービスといったところの準備はこれからですので、引き続きよろしくお願ひしたいというふうに思っております。

最後になりますが、今シーズンの開幕は2021年12月4日（土）です。2022年3月までリーグ自体は続くんですけれども、その内、我々のホームゲームというのが碧南市臨海体育館で開催される予定になっております。全部で4日間ございまして、1月29日（土）、1月30日（日）、3月11日（土）、3月12日（日）になります。是非、皆様にはホームゲームにお越しいただきまして、応援していただきたいなというふうに思っております。実際の大会の案内等は公式ホームページで発信していきますので、ご覧いただければと思っております。お願ひとしましては、ポスターをお配りしますので、会社の中などに掲示していただけるとありがたいなと思っております。

ご清聴ありがとうございました

次回例会案内

令和3年9月8日（水）

卓話「真言僧となるために～高野山・信貴山での修行生活～」

会員 大竹密貴君